

特集 3 慢性腎臓病の診断と腎臓専門医への紹介基準



こばやし たかし

小林 敬

順天堂大学医学部 腎臓内科学講座
准教授



すずき ゆうすけ

鈴木 祐介

順天堂大学大学院医学研究科
腎臓内科学 教授

要旨

慢性腎臓病 (CKD) が新たな国民病といわれてから15年以上が経過した現在, いまだCKD患者数は増加傾向にある. 腎臓専門医のみで全てを賄うことは困難であり, かかりつけ医がCKDを診断する機会や腎臓専門医へ紹介する頻度が増えてきている. そのような背景の中, CKDの正確な診断と適切なタイミングでの腎臓専門医への紹介は, CKDの重症化予防においても非常に重要な役割を果たす.

本稿では, 2023年6月に刊行された『エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023』に準拠した診断基準や重症度分類, 腎臓専門医への紹介基準の他, これらに必要な糸球体濾過量 (GFR) や尿検査の基本的な知識について解説する.

キーワード

慢性腎臓病 (CKD), 紹介基準, 病診連携

語句解説

特集
対談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

特集
6

ホット・
World News

最新
トピックス

徒然なる
ままに。